

# ウミガメ採卵保護を行いました

高知市春野町仁ノ 平成28年6月6日（月）

- 高知海岸では5月中旬から8月にアカウミガメの上陸・産卵が見られます。
- 6月6日、高知市立春野西小学校の4年生が、仁ノ工区にアカウミガメの採卵見学に来ました。ウミガメの保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さんが採卵します。





●採卵会の前に、海岸清掃をしてくださいました。  
この後3匹のウミガメを放流するため、みんなで協力してたくさんのゴミを集めました。



●清掃の後は、みんなでお世話したウミガメを放流します。



●大きな声でウミガメに声援を送りました。また高知海岸に戻ってきてくれるといいですね！



●次はいよいよ採卵開始です。  
熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。



●卵が見つかったらみんなで数を数えます。  
平均の直径39mm、重さ32gの卵を採卵しました。



1人1人手に取って卵の感触を確かめます。



●春野西小学校は123個の卵を採卵しました。  
採卵した卵は小学校のふ化場に移設をします。卵は2ヶ月くらいでふ化します。

●4年生のみなさんは、これからふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、  
産まれてくる子ガメの誕生を楽しみに学習を続けてください。  
そして夏休みの放流会までのお世話を頑張ってください。